

コラム2 ボスニア・ヘルツェゴビナの大統領は3民族による輪番

エスニック対立を緩和させるために、政治権力を分有させた例はブルンジ以外にもいくつかあります。ボスニア・ヘルツェゴビナでは、ボシュニャク人、クロアチア人、セルビア人といった3つの主要民族から1人ずつ選ばれた代表者で構成する「大統領評議会」を国家元首としています。評議会の議長は事実上の「ボスニア・ヘルツェゴビナ大統領」となりますが、このポストは8カ月ごとに代わります。つまり輪番制です。

南アフリカではアパルトヘイト廃止直後の時期、選挙で一定の得票を得た政党は必ず閣僚を出し、連立政権を組まなければならないという規定がありました。これは、白人を中枢とする政党を政権から排除しないための措置でした。

また、黒人が政権を握っても、白人の公務員を解雇せず、定年までの雇用を保証するという条項もありました。